

宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり ～UNOICHI 海が見える港のマルシェ～



岡山県玉野市
特定非営利活動法人 UNOICHI実行委員会



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

① 社会資本の概要

岡山県南央、児島半島の基部に位置する宇野港は、周囲を山と島に囲まれた天然の良港で、古くから本州と四国、瀬戸内海の島々を結ぶ“海の玄関口”として発展してきました。

昭和63年の瀬戸大橋開通により、宇高連絡船の廃止など、海上交通体系の再編を余儀なくされましたが、平成18年に大型客船バースが供用されて以



瀬戸内海の玄関口「宇野港」

降は、観光・人流港としての役割を担っています。平成20年5月には宇野地区一帯が「みなとオアシス」の登録を受け、住民参加型のみなとまちづくりにも積極的に取り組んでいます。

近年はクルーズ客船の誘致にも力を入れており、客船入港の際は乗客、乗員、一般市民を対象としたおもてなしイベントも開催されています。



クルーズ船おもてなしイベント

② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

UNOICHI 実行委員会は地元の高校生を中心とした団体で、若い感性、地域活性化への意欲を形にして、宇野港や瀬戸内海が持つ魅力を世界に発信し、観光振興や移住促進を目標に活動しています。

主催するマルシェイベントでは、玉野市だけでなく、岡山県内や瀬戸内の島々にある個性溢れるお店に出店を依頼し、港ならではの繋がり、海を眺めながらゆったりと過ごしていただく空間を提供してい

ます。高校生、大学生は“海をもっと身近に感じてもらいたい！”を合言葉にそれぞれの専門分野の枠を超えて企画立案を大人と一緒にしています。

イベントでは、瀬戸内ならではの美味しい食べ物や飲み物、スイーツ、本やグッズが集まり、ものづくり体験ワークショップや、音楽の生演奏なども楽しめます。



イベントポスター



地元の高校生も毎年参加

③ 活動の成果や波及効果等

活動を通して、多くの方々に宇野港へ関心を持っていただき、来場者の増加等、港を中心とした地域の賑わい創出につなげることができています。

平成29年には、港の集客の向上に大いに貢献している点が評価され、日本港湾協会企画賞を受賞、平成30年には大学生を中心に UNOICHI TOKYO チームが発足するなど、広がりを見せています。

また、プラスチックごみの削減等による海洋環境保全を目的とした「SOS (Save Our Sea) プロジェクト」を開始するなど、今後も地域資源と若者をつなぐ様々な活動を続けていきます。



港湾緑地にてマルシェイベントを開催



日本港湾協会企画賞受賞
(玉野市長報告会)



UNOICHI エコボトル
(SOS プロジェクト)

●● 喜びの声 ●●



受賞者

特定非営利活動法人 UNOICHI 実行委員会
理事長 小倉 理史

コメント

『手づくり郷土賞』と誇れる賞をいただいたことに感謝の想いでいっぱいです。そして、全国の熱意ある方を前に高校生が自分の行ってきたことを交え、語れる機会をいただけたことにも感謝の想いでいっぱいです。

今後、更に若い世代が活躍できる環境、場所を作り、きちんと収益も作り、事業展開を行うことが地域活性であり、地域資源でもあると信じて。

活動の内容

- ・ UNOICHI ～海が見える港のマルシェ～
- ・ SUMMER STYLE (クルーズイベント)
- ・ SOS (Save Our Sea) プロジェクト など

活動の経緯

- 平成25年 団体設立
以降マルシェイベントを中心に毎年4、5回のイベントを開催
- 平成29年 日本港湾協会企画賞受賞
港湾協力団体に指定
- 平成30年 TOKYO チーム発足

所在地

岡山県玉野市

活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 UNOICHI 実行委員会
(0863-55-4339)
<http://unoichi-tamano.com/>

対象となる社会資本

宇野港宇野地区 第一突堤 大型客船バースおよび第三緑地
※管理者：岡山県



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編